

平成 29 年度第 3 回 鎌倉市障害者支援協議会全体会 会議結果概要

開催日時	平成 30 年 3 月 22 日（木）10 時から 12 時まで
開催場所	鎌倉市福祉センター 2 階 第 1・2 会議室
出席者	<p>〔全体会委員〕 ○15 名出席</p> <p>〔運営会議委員〕 ○3 名出席</p> <p>〔オブザーバー〕 横須賀三浦障害保健福祉圏域 ナビゲーションセンター 菊池 一美氏</p> <p>〔事務局〕 ○6 名出席（内 2 名運営会議委員）</p> <p>以上 24 名出席 「平成 29 年度鎌倉市障害者支援協議会 第 3 回全体会 出席者名簿」を参照</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 3 回全体会等 会議次第 ・ 第 3 回全体会等 出席者名簿 ・ 平成 29 年度第 2 回全体会会議結果概要（案） 1. 平成 29 年度の各専門部会の活動状況報告 <ul style="list-style-type: none"> ・（資料 1）権利擁護・相談支援部会の活動状況報告 ・（資料 2）地域生活支援部会の活動状況報告 ・（資料 2 関連）名越やすらぎセンター「ニューイヤークンサート」記録写真 ・（資料 3）就労支援部会の活動状況報告 ・（資料 4）こども支援部会の活動状況報告 2. 平成 30 年度障害者支援協議会について <ul style="list-style-type: none"> ・（資料 5）専門部会の構成等について ・（資料 6）各専門部会の委員構成（案）について ・（資料 7）協議会の進め方（予定） 3. 鎌倉市障害者福祉計画の改訂について <ul style="list-style-type: none"> ・（資料 8）第 3 期障害者基本計画（平成 30～35 年度）（案） 第 5 期障害福祉サービス計画（平成 30～32 年度）（案） 4. 市の就労支援事業の取組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・（資料 9）ワークステーションかまくら（仮称）の開設について 障害者 2000 人雇用の取組みについて
会議概要	<p>○ 開会 冒頭、委員等の出席状況、オブザーバー出席、会議の成立、配布（事前送付分・追加分・差し替え分）資料及び記録作成のための録音等に関する報告・確認を行った。 その後、寺田会長の開会あいさつに引き続いて、第 3 回全体会次第に基づいて会議が進められ、その概要は以下のとおりでした。</p>

会議概要
(続き)

○ 議題（協議事項）

1. 平成 29 年度の各専門部会の活動状況報告

各部長から資料に基づいて、今年度の専門部会での協議・取組みの状況等（第 2 回部会までの状況は第 2 回全体会で中間報告済みのため第 3 回部会以降の状況等）について、それぞれ以下のとおり報告された。その後、質疑等が行われ、基本的に各報告内容についてそれぞれ了承された。

（1）権利擁護・相談支援部会

《主な協議・取組み状況等の報告内容》

①「相談支援のための精神保健福祉情報ガイドかまくら」について

- ・ 29 年度版について、計 160 部（うち 130 部は市優先調達事業にて印刷）を関係機関に配布した。特に、市内精神科クリニックには出来る限り訪問して配布し、情報交換を行った状況等の報告について確認した。

②精神保健福祉をテーマとする協議のあり方について

- ・ 第 3 回及び第 4 回部会での主に以下の協議等を踏まえ、別紙「精神保健福祉をテーマとする当協議会での協議のあり方について」を最終的にまとめ、今回の全体会へ報告することとした。

（協議概要）

○どのような精神保健福祉の部会を作っていくか、その協議のヒントとして、鎌倉市において想定される以下のような課題を提示して、意見交換を行った。

- ・ 効果的な情報の共有と活用
精神保健福祉情報ガイドの活用、地域(暮らし)福祉(サービス)医療間の効果的な情報共有・活用の検討等
- ・ 鎌倉市における「精神保健福祉相談のあり方」についての検討
- ・ ワンストップでの確かなアセスメントと繋ぎ機能のあり方、支援の困難な事例に関する情報共有、検討による課題抽出等

○部会の名称（案）、委員構成（素案）及び権利擁護・相談支援部会のあり方等について、以下のとおり意見の集約を図った。

- ・ 部会名称（案） 『精神保健福祉部会』
- ・ 委員構成（案）について
固定委員としては、相談支援事業所、保健福祉事務所、精神科医療機関、学識経験者、家族会、当事者の方（複数）及び生活困窮者支援事業所等が望ましい。
- ・ 権利擁護・相談支援部会のあり方について
権利擁護・相談支援に関する課題は、山積しているという共通認識のもとに、引き続き専門部会として取り組んでいくことが必要である。協議会の運営上、専門部会の設置数は制約していくことも必要と思われることから、改めて運営会議などにおいて、全体的に適切な専門部会の構成を検討していく。また、特に相談支援は協議会における全体的、共通的なテーマとして位置付けるものとする。

○（県における）保健・医療・福祉関係者による「協議の場」について情報共有を行い、当協議会における部会の役割等について意見交換を行った。

- ・ 保健福祉事務所との役割分担はしっかりと考えていかなければならない。
(他の会議で協議されているテーマとはかぶらないようにする。)
- ・ 当協議会（部会）では、生活されている方の困り感を現実的に解決していく取り組みを、鎌倉の地域の特性を充分にとらえて、具体的な課題にポイントを絞って検討していくことが必要である。

会議概要
(続き)

③「意思決定支援」に関する研修会の企画について

- ・「今、現場で求められる『意思決定支援』とは？」と題して、平成30年2月26日(月)に和泉短期大学児童福祉学科の鈴木敏彦教授を講師に相談支援事業所及びサービス提供事業所等を対象とする研修会を実施していくこととした。

《委員からの主な意見・質疑等》

- ・この部会は、国の精神障害にも対応した地域包括システムの構築という考え方に示される保健・医療・福祉関係者の協議の場とどのような関係になるのか。(位置づけられるのか)⇒権利擁護・相談支援部会の報告書では、将来的に設置が求められる市町村ごとの保健医療福祉関係者による協議の場については、この部会が役割を担うことも提言されている。協議会の中で、来年度以降の取り組みとして検討していくものと考えている。
- ・報告書の中で「本協議会の運営上、専門部会の設置数は制限していくことも必要と思われる」と記載があるが、必要なものは作らなければならないのではないのか。⇒部会の設置については、基本的に必要なものは設置すべきと考えているが、そのためには事務局等の体制の整備を併せていく必要があり、来年度以降については、現状では従来どおりの形とならざるを得ないと理解するものである。

(2) 地域生活支援部会

《主な協議・取組み状況等の報告内容》

①移動支援事業について

- ・鎌倉市と隣接市の移動支援サービスに関するガイドライン等における比較検討を行い、相違点等を確認するとともに意見交換を行った。
- ・移動支援事業の供給側(事業者)における課題等を把握していくため、障害者福祉課で実施を検討している「事業所アンケート調査」における調査項目等について、資料に基づいて意見交換を行い、さらに調査票(案)の精査を進めていく予定とした。

②地域生活を支えるための課題の検討について

- ・市内グループホームの実態把握の検討を進める中で、障害のある方の「今または将来の暮らしの場所の希望に関する意向」について実態把握を図っていくこととし、そのため『本人の暮らしの場所の希望に関する調査』を企画、検討していくこととした。
- ・調査項目、調査方法の詳細等の課題について、実施に向けてさらに検討していくことを確認した。

③地域交流会活動の取組みについて

- ・腰越地区地域交流会「高齢者福祉講座」への参加・実施を図った。
- ・名越やすらぎセンターで行われる「ニューイヤーコンサート2018」への参加による交流活動企画(案)を協議し、実施した。
- ・第15回大船まつりパレード「地域生活支援部会つながり隊」の参加について、30年度も企画(案)のとおり準備を進めていくこととした。

④地域生活支援部会での取組みテーマ等の検討について

- ・権利擁護に関するテーマについて、30年度に精神保健福祉に関連する専門部会が新設される動向を踏まえ、地域生活支援部会での取組みとしていくことに関して意見交換を行った。
- ・権利擁護・相談支援部会の検討の中で、今後も継続して取り組むべきと示されている課題等は、これまで地域生活支援部会で多方面にわたって協議を重ねてきた事項と、深く関わるものが多いとの認識が改めて確認された。

《委員からの主な意見・質疑等》

- ・移動支援事業に関する市内28事業者を対象としたアンケート調査は是非実施してもらい

<p>会議概要 (続き)</p>	<p>たい。この調査は、報告のとおり市で実施すべきものと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点の整備に向けた検討のための暮らしの場所に関する調査では、企画案に示されたように相談支援事業所のデータが非常に重要と思うので、是非その方向で進めて欲しい。また、そのためにも、基幹相談支援センターでサービス等利用計画案の作成について研修を進めて欲しい。 <p>⇒一人一人のライフステージにおける暮らしの場についてどういう希望があるのかの調査を、今後の相談支援事業所訪問での1つのテーマとしていきたいと考えており、1,000件前後の調査結果が出ることを期待している。相談員がそこまでの聞き取りができていない場合は、事業所訪問活動を通して伝えていきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームに入って1年ぐらいしてから一人で暮らしたいと希望する人もいると思う。こういう意向についても詳しく調査に含めて欲しい。 <p>⇒今の意見が反映できるように調査項目を整理していきたい。</p> <p>(3) 就労支援部会</p> <p>《主な協議・取組み状況等の報告内容》</p> <p>①障害者雇用に向けた養護学校見学と支援制度説明会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果的に研修会は降雪のため中止となったが、参加申込み者等の状況及び当日のプログラム(予定)等の準備状況の報告に基づいて協議した結果、来年度事業として、改めて本事業について取り組みを進めていくことを確認した。 <p>②第3期鎌倉市障害者基本計画・第5期障害福祉サービス計画(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉課から30年度の改訂に向けて進められている第3期障害者基本計画(案)及び第5期障害福祉サービス計画(案)の改訂内容等について、協議会からの提言内容等を踏まえて報告を確認した。 ・特に、「ワークステーションかまくら」の開設に向けた進捗状況及び障害者2,000人の雇用に向けた取り組みに関する市の基本的な考え方が示され、このことについて意見交換を行った。 <p>《委員からの主な意見・質疑等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス利用計画における就労関係の見込み数量と実態について、部会で継続して協議をして欲しい。 ・就労継続支援A型事業で、賃金の支払いに給付費を充てることができなくなったが、このことで本当に事業が行っていただけるのかどうか、実態について把握して欲しい。 ・就労継続支援A型事業が今後どのような形になるのかについて、就労支援部会の意見を伺いたい。また、結果的にA型事業から出されてしまった人たちの動向についても把握してもらいたい。 <p>⇒A型事業からB型事業に移行するという話も聞いており、部会としても実態について調査等を行うことを含めて検討していきたいと思う。</p> <p>(4) こども支援部会</p> <p>《主な協議・取組み状況等の報告内容》</p> <p>①「サポートファイルかまくら」の周知・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知用ポスターを作成し、市内関係機関等に約280枚の配布を行い、掲示したことを確認した。 ・幼稚園向け説明会の実施状況及び予定について、市発達支援室の報告を確認した。 ・「サポートファイルかまくら」活用状況に関する調査の主旨や実施方法等について検討を進めるとともに、1月からの回収状況等の概要について確認し、意見交換を行った。
----------------------	--

会議概要
(続き)

②子どもの家（学童保育）における障害のある児童への支援について

- ・これまで発達支援室及び基幹相談支援センター等が市青少年課と取り組んできた状況や課題等について情報共有するとともに、今後、部会としてどのように関り、取り組むことがあるか意見交換を行った。
- ・市内子どもの家への発達支援マネージャー訪問の取り組み状況の報告について確認した。

③医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設定について

- ・30年度末までに各市で保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関が連携を図るために必要な協議の場を設けることが示されていることについて、障害福祉サービス計画（案）の内容や29年度横須賀三浦障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業での取り組み「医療的ケアの必要や重度障害者の地域生活について」の検討状況等を踏まえて意見交換を行った。
- ・なお、市からは、本件の協議の場について、こども支援部会とは別に専門的に取り組む場を設置していくこと及び当部会とは情報共有を図っていききたいとする基本的な考え方が示され、確認した。

《委員からの主な意見・質疑等》

- ・由比ガ浜こども支援センターでは、医療的ケアの対応を実際に行うのかどうか。
⇒障害者福祉課としては、由比ガ浜の支援センターで医療的ケアの対応は行われると聞いている。なお、本件は発達支援室で行っており、意見・回答等については発達支援室へ送付したいと思う。
- ・市の所管部が違うが、是非市でも必要な所は調整して報告いただき、協議会でできる事は検討するという事で進めていきたい。来年度早々にどのように始められるのかという事は報告して欲しい。

2. 平成30年度障害支援協議会について

30年度の専門部会の構成等及び協議会の進め方等について、資料に基づいて、それぞれ以下のとおり説明を受け協議を行った結果、各事項とも基本的に原案のとおり進めていくことが確認、了承された。

(1) 専門部会及び委員の構成について

権利擁護・相談支援部会の報告及び運営会議での協議を踏まえて、今回の提案内容を以下のとおりまとめている。

- ・専門部会は30年度も4部会の設置とする。
- ・精神保健福祉部会を新設する。
- ・地域生活支援部会での協議も踏まえ、権利擁護に関するテーマについてはこの部会の中で継続していく。
- ・就労支援部会及びこども支援部会は、継続する。
- ・相談支援については、この協議会の共通のテーマであり、そうした視点を各専門の中でそれぞれ取り上げて行くことを基本的な姿勢とする。
- ・上記の考え方を踏まえて、固定委員の具体的な構成等の考え方を資料のとおりまとめている。今後この方針で具体的に人選及び関係機関等との調整を進めたい。

《委員からの主な意見・質疑等》

- ・地域生活支援部会に魅力を感じた。(自分も取り組んでみたい)
権利擁護も地域生活支援部会の中で取り組むのは、中々良いと思う。

会議概要
(続き)

- ・相談支援関係について4部会でそれぞれ共通テーマとして取り組み、それぞれの活動報告ではそうした視点の内容がまとめられるということか。
⇒それぞれの部会に見合った内容で、相談支援について意見や協議事項がまとめられるよう取り組んでいけたらと思う。
- ・精神保健福祉部会には、地域で受ける立場として居宅介護事業所からも参加があった方が良いと思う。
⇒保健福祉事務所と精神保健福祉部会では、長期入院の方の把握・地域移行と、その受手としての役割に分担されるものと考えている。退院される方を地域で受ける、あるいは地域で暮らしている方を入院させないという想定なので、部会には、居宅介護事業所の方が参加された方が良いと思うので検討したい。
- ・厚労省が示す地域包括ケアシステムの構築では、県と市でそれぞれ協議の場を設置するようがあるが、取り組む協議内容は同じような内容しか示されていない。同じ様なメンバーが同様なテーマで会議を重ねて行うことは避け、役割を分担しながらもきちんとリンクさせて進めていくことが必要と考える。特に、市の協議としては、現に生活している方がより良い生活をできるようなシステム作りなどについて考えて欲しいと思う。
- ・市の部会では、地域で生活する中での困り事とか色々な課題に対処していくのが役割と考えて良いのではないか。
- ・地域で生活するための土台や仕組み等を作るということが受ける側の態勢を整えるという点ではとても大事なことで、これは私たちが考えなければいけないことだと思う。

(2) 協議会の進め方について

《委員からの主な意見・質疑等》

- ・協議会(全体会)で、専門の人たちの意見が全体的に出ていないと思う。多くの意見を出して議論を深めていくことをもっと考えた方が良いのではないか。そういう意味で全体会の本来的な役割は何かということを原点に戻ってもう一度見直す必要があるのではないか。報告の内容は整理し、全体で議論した方が良い事項をピックアップして、その背景とか問題点を整理した上で協議するような運営を検討して欲しい。
⇒大事なテーマ等については、やはり全体会で協議できるような仕組みは必要かなと思う。時間的な制約と、専門部会の報告も大事と思いこれまでの進め方としていたが、来年度に向けて検討してみたい。

(3) 全体会委員の更新等について

現在の委員構成を基本的に継続すること及び身体障害の方の参加を具体的に検討していくことを提案し、了承された。

3. 鎌倉市障害者福祉計画の改訂について

第3期障害者基本計画(平成30～35年度)・第5期障害福祉サービス計画(平成30～32年度)の改訂の状況について、障害者福祉課から報告を受け、内容を確認した。

4. 市の就労支援事業の取組みについて

市の就労支援事業の取組みとして「ワークステーションかまくら(仮称)」の開設の状況と新たな障害者2000人雇用の取組みを進めていくことに関して障害者福祉課から報告を受け、内容を確認した。

<p>会議概要 (続き)</p>	<p>《委員からの主な意見・質疑等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労移行を成果に含めるとのことだが、成果とは認められない対象ではないか。 ・就労先にA型事業所を想定しているようだが、A型からB型に変更する事業所もあって利用者が解雇されているという状況がでていることを理解してほしい。A型事業所できちんと事業展開が出来るような市のバックアップについて検討してほしい。 ・ワークステーションで想定される作業は、地域活動支援センターでの作業と同様なレベルであり、一般就労へ繋がる作業体験やスキルとなっていくのかと思われる。 <p>⇒雇用センターの詳細については、今後さらに検討していく予定で、協議会での意見等も踏まえながら詰めていきたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考にしてている市は6万人位の人口で、鎌倉は17万人を越えており、規模や事業所数の違いがある。そうしたことを踏まえて検討してほしい。また、参考の市の実情なども今後別途報告をして欲しい。 <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度第1回全体会の開催候補日を5月29日(火)午後で想定している旨を報告した。 (開催通知は、別途送付の予定) ・横須賀・三浦障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンターから提供された発達障害者地域支援マネージャー活用事例と自閉症に関する講演会及び発達障害啓発週間の取組みに関する資料の説明を受けた。 <p>会長あいさつの後閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------------------	---